

# 自分の考えをもち伝え合うことができる子の育成

～ 第3学年 国語「すがたをかえる大豆」の実践を通して ～

胎内市立黒川小学校 教諭 樋木 ちな美

## 1 はじめに

NRT の分析結果から、本学級は「読むこと」の領域が落ち込んでいることが分かった。中領域別に見ると「説明的な文章を読む事」が大きく下回っている。

そこで、授業では次のように指導改善をし、落ち込んでいるところを高めていくことにした。

児童の実態		指導の改善で付けたい力
・読む目的に応じて中心となる語や文をとらえる力が弱い	→	・指示語や接続語、文末表現に注意して読ませることによって、中心となる文をとらえることができるようにする。
・文章構成をとらえる力が弱い。	→	・書き出しの言葉に着目させることによって、説明する順序のよさを見つけることができるようにする。

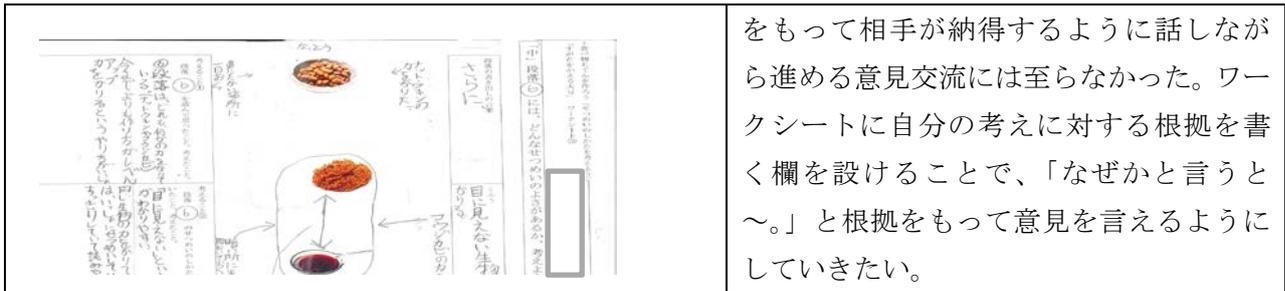
## 2 授業の実際

### (1) めざす子ども像

自分の考えをもち、伝え合うことができる子

### (2) 方策及び成果と課題等

方策① ワークシートの工夫	成果と課題等																
それぞれの学習活動に合わせたワークシートを作成し活用することによってそれぞれの学習活動を効果的に行えるようにした。	<p>ワークシートに情報の取り出しをしたものを書かせ、それをもとに自分の考えを書かせてから意見交流を行うことによって、どの児童も自分の考えをもち、活発に自分の意見を話すことができた。</p> <p>意見交流の中で、相手に分かるように、いろいろな言葉で話す様子が見られた。うまく話せない児童も、自分のワークシートを提示することによって、それを見た友だちが、うまく伝えきれないところについて質問をしたり「こんなことを言いたいのか？」と友だちが言いたいことを考えて質問したりすることができた。しかし、根拠</p>																
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>ワークシート</th> <th>ワークシートの活用場面</th> </tr> <tr> <td>ワークシート①</td> <td>「すがたをかえる大豆」と「ありの行列」の文章を比較する。</td> </tr> <tr> <td>ワークシート②</td> <td>「はじめ」1段落～2段落の読み取り。</td> </tr> <tr> <td>ワークシート③</td> <td>「中」3段落～7段落の読み取り（段落ごとに1枚のワークシートを使う。）</td> </tr> <tr> <td>ワークシート④</td> <td>各段落に何が書かれているか一覧表に整理する。</td> </tr> <tr> <td>ワークシート⑤</td> <td>説明する順序のよさを考える。</td> </tr> <tr> <td>ワークシート⑥</td> <td>作文の材料を集める。</td> </tr> <tr> <td>ワークシート⑦</td> <td>作文の組み立てを書く。</td> </tr> </table>		ワークシート	ワークシートの活用場面	ワークシート①	「すがたをかえる大豆」と「ありの行列」の文章を比較する。	ワークシート②	「はじめ」1段落～2段落の読み取り。	ワークシート③	「中」3段落～7段落の読み取り（段落ごとに1枚のワークシートを使う。）	ワークシート④	各段落に何が書かれているか一覧表に整理する。	ワークシート⑤	説明する順序のよさを考える。	ワークシート⑥	作文の材料を集める。	ワークシート⑦	作文の組み立てを書く。
ワークシート		ワークシートの活用場面															
ワークシート①		「すがたをかえる大豆」と「ありの行列」の文章を比較する。															
ワークシート②		「はじめ」1段落～2段落の読み取り。															
ワークシート③		「中」3段落～7段落の読み取り（段落ごとに1枚のワークシートを使う。）															
ワークシート④		各段落に何が書かれているか一覧表に整理する。															
ワークシート⑤		説明する順序のよさを考える。															
ワークシート⑥	作文の材料を集める。																
ワークシート⑦	作文の組み立てを書く。																



をもって相手が納得するように話しながら進める意見交流には至らなかった。ワークシートに自分の考えに対する根拠を書く欄を設けることで、「なぜかと言うと～」と根拠をもって意見を言えるようにしていきたい。

方策② 3つの対話とワークシートの活用

成果と課題等

① 教材との対話（情報の取り出し）

教科書の本文に囲みやサイドラインを入れたり、ワークシートに書き出ししたりすることで情報の取り出しを行う。意見交流をする際にお互いに分かりやすいように、次のように囲みやサイドラインの色を共通する。

- ・青囲み・・・段落の書き出しの言葉
- ・赤囲み・・・「くふう」という言葉
- ・赤線・・・工夫について述べている文

サイドラインを引いてワークシートにまとめる活動を、どの段落についても同じパターンで行っていくことによって、児童は自分の力で読み取っていく手順が分かるようになってきた。

囲みや線の色を統一することによって、意見交流の際、何について話し合っているのか分かり、話し合いがスムーズに進んだ。

① 自分自身との対話（自分の考えをもつ）

情報の取り出しをしたワークシートを基に、気づきや自分の考えなどをワークシートや付箋に書く。自分の考えを書くために、児童は必然的に、筆者は何を伝えているかを考えながら読む。この活動を通して、文章を正確に読み取る力を付ける。

接続語に着目してまとめるワークシートを活用することによって、段落相互の関係に気づかせ、読み手にわかりやすい説明の仕方について考えさせることができた。

② 友だちとの対話（伝え合い）

自分の考えを書き出したワークシートや付箋を使いながら、考えを伝え合う。相手にわかるように伝えられない場合は、話を聞く側の友だちがワークシートや付箋に書いてあることを見て、話をしている人がどんなことを伝えたいのか考えたり、質問したり、言葉を付け足したりしながら一緒に考えを共有していく。



付箋を活用して KJ 法で意見交流をさせることによって、活発に伝え合う姿が見られた。相手に分かるようにいろいろな言葉で伝え合うことはできたが、理由や根拠をきちんと述べる児童が少なかった。課題提示の仕方や補助発問を工夫することによって、根拠をしっかりと述べながら伝え合う力を付けていくことができるようにしたい。

